

市政トピックス

# 咲き誇る花とみどりと笑顔 全国都市緑化仙台フェア開幕

国内最大級の花とみどりの祭典  
全国都市緑化仙台フェア「未来の  
杜せんだい2023」が4月26日  
に開幕しました。仙台での開催は  
平成元年の「グリーンフェアせん  
だい」以来2回目です。メイン会  
場となる青葉山公園追廻地区で  
行われたウエルカムセレモニーに  
は、郡市長をはじめとする関係者が出  
席し、フェアのマスコットキャラ  
クターである「フォレッピー」と  
ともに、来場者を出迎えました。初  
日はあいにくの天気となりました  
が、市民の皆さんと植え付けした  
大花壇「はなばた飾り」では、色



大花壇「はなばた飾り」

ウエルカムセレモニー

Eボート乗船体験会

市政トピックス

鮮やかなバンジーやキンギョソウ  
などが、来場者の目を楽しませま  
した。

行楽日和となったゴールデンウ  
イーク期間中も、多くの人々が各  
会場を訪れ、写真を撮ったりイベ  
ントに参加したりと、思い思いに  
過ごしていました。西公園会場で  
は、樹木を利用した「森の空中散  
歩」を体験できるアスレチックに  
子どもたちが挑戦。やや不安な表  
情を見せつつも、約80メートルの  
ジップラインを下りゴールすると、  
「楽しい！もう一回！」と喜ぶ姿  
が見られました。東部エリア会場  
では4月30日、貞山運河でEボ  
ート(手こぎボート)乗船体験会が  
開催され、計60人ほどの家族連れ  
などが参加。ガイドの案内の下、  
息を合わせてボートをこぎ、岩場  
に隠れるカニや水辺を眺める魚な  
どを探しながら、沿岸地域の自然  
を満喫しました。

フェアの開催は6月18日まで。  
花壇の植え替えを行いながら、引  
き続き多彩なイベント等を通して  
盛り上げていきます。杜の都の魅  
力がたつぷりと詰まったフェアを  
最後までお楽しみください。

市政トピックス

## G7仙台科学技術大 臣会合が開催されま した

5月12日から14日まで、秋保地  
区を会場にG7仙台科学技術大臣  
会合が開催されました。会合には  
G7各国の大臣や報道関係者など  
約210人が参加。地球規模の課  
題解決に向けた議論が行われ、宇  
宙ごみ対策、海洋観測に関する国  
際協力などを盛り込んだ共同声明  
が採択されました。



▲初日の会合終了後、郡市長が歓迎のあいさつを行いました

市政トピックス

## 仙台市給水開始100 周年記念式典

今回の会合を契機に、国内外か  
らの投資や、科学技術をテーマと  
した学会の誘致などにつなげてい  
きます。



▲田植踊を披露する様子

本市の水道事業は、3月31日に  
給水開始100周年を迎えました。  
これを記念し、5月10日に仙台南  
際センターで記念式典を開催し、  
仙台の水道の歴史を映像で振り返  
ったほか、長年、水道事業の運営  
に貢献された団体・個人6組を表  
彰。また、福聚山慈眼寺の住職・  
塩沼亮潤 大阿闍梨による「自然  
を大切に生きる」をテーマにした  
講演も行われました。  
市では、今後も安全で良質な水  
を届けられるよう取り組んでい  
きます。

市政トピックス

## 農業復興に向けてウ クライナ政府が視察

4月18日、ウクライナの政府高  
官が、せんだい3・11メモリアル  
交流館などを訪れました。ウクラ  
イナでは、ロシアによる軍事侵攻  
で多くの農地や農業施設が被害に  
遭うなど、農業分野の復旧・復興  
が大きな課題となっています。そ  
こで、東日本大震災の被災地の視  
察を通じてウクライナの農業復興  
に役立ててもらおうと、独立行政  
法人国際協力機構(JICA)が  
県内沿岸部に招きました。

メモリアル交流館では、ウクラ  
イナ政府高官に対し、常設の展示  
パネルを用いながら、東部沿岸地  
域における住まいの再建や防災集  
団移転などについて説明したほか、  
震災3年後には約8割の営農を再  
開させた経験と知恵を共有しまし  
た。市は、ウクライナから避難さ  
れた方に対する市営住宅の提供や  
医療費助成、就労支援など、継続  
的な対応を進めるとともに、1日  
も早くウクライナに平和が訪れる  
ことをお祈りします。

市政トピックス

## 交流人口拡大に向け タイ・バンコク訪問

市では、本年度を観光再生元年  
として位置付けており、外国人旅



▲七夕飾り作りを通して仙台の伝統文化に親しむタイの参加者

現地の商業施設で開かれた消費  
者向けイベント「日本東北観光フ  
ェア」では、会場に仙台七夕飾り  
を設置して来場者を出迎えたほか、  
東北各県の観光地を紹介するブ  
ス出展や七夕飾りのワークショップ  
を通じて、仙台・東北の魅力を  
発信。また、タイ国際航空やタイ  
国政府観光庁などを訪れ、新型コ  
ロナウイルスの影響で令和2年3  
月から運休している仙台―バンコ  
ク定期便の再開を要請しました。

引き続き、観光交流をはじめ、  
物流やビジネスなど、さまざまな  
分野でのタイとの交流促進に向け  
て、取り組みを進めていきます。

### 市長コラム

## 春夏秋冬

仙台市長 郡 和子

### 短夜の空を見上げ

1年の中で夜が一番短いのが  
夏至で、梅雨の時期にも重なる  
のですが、この頃の晴れた夜空  
が私は結構好きです。

日の入り後の西の空には金星  
が輝き、金星の近くに火星も見  
えています。そしてすっかり暗  
くなる頃、春の星座が西に傾き、  
それを追いかけるように東の空  
から夏の星座が昇ってきます。  
都心での観測は難しいかもしれ  
ませんが、月のない深夜、頭上  
に目を凝らすと、天の川がうっ  
すら見えたりします！

夏の星座は、私たちのまち仙  
台と縁の深いものです。代表的  
な「夏の大三角」を形作る「こ  
と座」の「ベガ」と「わし座」  
の「アルタイル」は七夕伝説の  
織り姫と彦星。ベガルタ仙台の  
名前もこの星の名に由来してい  
ます。そして、二つの星を南北  
に天の川が隔て、年に1度の逢  
瀬を翼で橋渡しする「はくちよ  
う座」の「デネブ」(白鳥の尻  
尾に位置する明るい星)が、夏  
の大三角の残りの一つです。  
随分昔になりますが、私の子

どもが小学生の時分、夏休みに  
キャンプに行った山の中で寝そ  
べって見た天の川と夏の大三角  
の美しさは、今でも忘れられま  
せん。

ところで、私たちの地球も天  
の川銀河にあり、夏の大三角や  
天の川を形成する星からは、地  
球はいったいどのように見える  
のだろうと想像します。銀河系  
で新たな星が誕生した、星が最  
期を迎えた、あるいはブラック  
ホールの成り立ちなどといった  
ニュースに触れるたび、地球が  
美しい星であり続けるために私  
たちは何をすべきか、と思うの  
です。

そうそう、仙台市天文台がリ  
ニューアル工事を終えて、プラ  
ネタリウムも6月19日から再ス  
タートします。宇宙の神秘と地  
球の未来を考える、パージョン  
アップした投映も用意できまし  
た。ぜひ足を運んでみてくださ  
い。そして仙台七夕まつりも、  
今年とは通常開催に戻ります。短  
夜の空を見上げ期待を膨らませ  
ています。

● 次回の掲載は9月号を予定しています